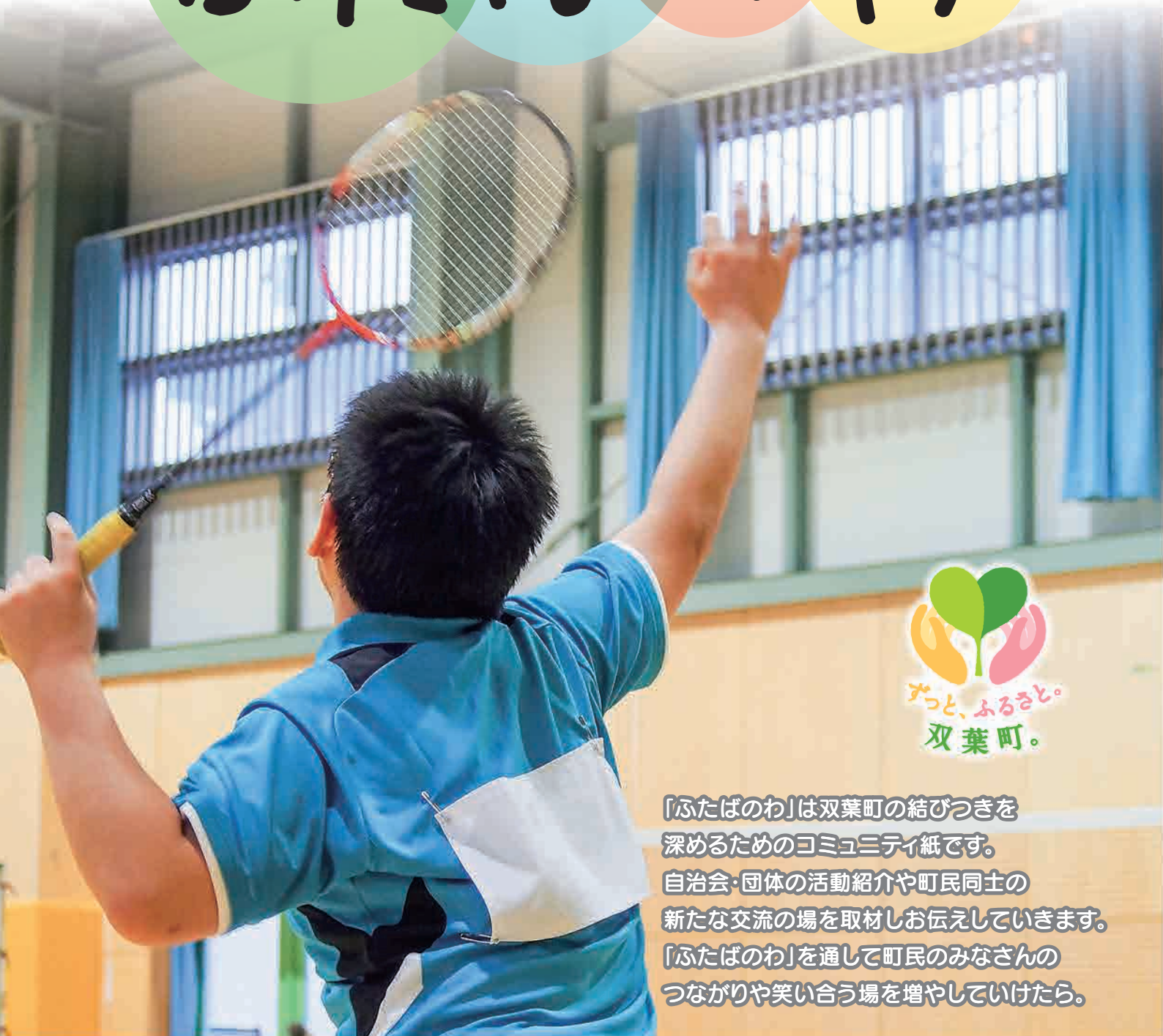


つなげよう つながろう  
ふたばのわ



「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを  
深めるためのコミュニティ紙です。  
自治会・団体の活動紹介や町民同士の  
新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。  
「ふたばのわ」を通して町民のみなさんの  
つながりや笑い合う場を増やしていけたら。

- ▶ 羽ばたけ!未来へ～双葉町立小・中学校～(P2～4) ▶ 交流の輪を広げよう!～双葉町民交流施設紹介～(P5)
- ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6) ▶ 町からのお知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: ふたさぼ(双葉町復興支援員)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼  
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ ▼  
<https://futabanowa.wordpress.com>







# 羽ばたけ！未来へ

双葉町立小・中学校

双葉町立小・中学校がいわき市に再開して2年7カ月が経ちました。現在、小学校には20人、中学校には12人の児童・生徒が通っており（9月20日現在）、仮設校舎や体育館も少し狭く感じられるようになりました。「魅力ある学校」を目指し、たくさんの方に支えられながらつくり上げてきた町立学校。町立学校の取り組みと魅力とともに、子どもたちの様子をお伝えします。

## 魅力① 学校全体が一つの家族

町立学校の魅力は学校全体がコンパクトであることです。少人数であることを強みと捉え、一人ひとりに合わせた教育が行われていると同時に、児童・生徒が学年に関わらず交流し、学校全体がまるで一つの家族のようです。

子どもたちが自分の居場所として学校を安心できる場所と思い、伸び伸びと学校生活を送っています。

また、小学校の先生方は、卒業した後も、中学生になった生徒の成長を間近で見ることができ、うれしいと話します。

「本気で学びみんなで伸びる」という今年度の小学校の重点目標を実感できる学校生活を子どもたちは送っています。

## 魅力② 一人ひとりの持つ役割と責任

生徒会や図書委員、給食当番や掃除当番など、児童・生徒数が少ないため一人ひとりに役割があります。そんな学校生活の中で自然と自分の役割を意識し、役割を果たすこととする責任感が育てられます。

### 部活・新人大会壮行会



ハードな練習メニューをこなすバドミントン部  
相双地区新人大会では選手宣誓も務めました

### 昼休み



小学生と先生と一緒にドッジボール  
休み時間も子どもたちは全力です

### みんなとおしゃべりできる楽しい時間



### 給食

### 総合的な学習



### 田んぼの学校



「山田のじゃんがら念仏踊り」について学び、実際に鑑を鳴らしてみました

「田んぼの学校」事業で  
いわき市の小学校、地域の方と交流





**魅力③ 交流を通して学ぶ気遣い**

校内で学年問わず交流ができるほかに、双葉町やいわき市の方などと、さまざまな交流が行われています。いわき市南台のひだまりサポートセンターを訪問し、施設利用者へ歌を披露したり、一緒にゲームをしたり、いわき市の小学校と合同の稲刈りや学校探検などの交流を通して、周りの人への気遣いや接し方を自然と学んでいます。

**魅力④ 自信を持って表現する力**

今年度の中学校の重点目標は「自信を持って表現することができる生徒」。少数での授業は自分で活動したり、発表する時間も多く、受け身ではありません。

さらに、音楽や演劇、創作など文化的な活動も充実しているため、さまざまな形で自分の考えや想いを表現する力が身につきます。

**魅力⑤ 双葉町に触れる**

双葉町の歴史や文化、伝統芸能に触れる時間が多いのも町立学校ならでは。総合的な学習の時間には町民の方を講師に招き、さまざまなことを学びます。震災後営業を再開した双葉町のお店を訪問しインタビューを行ったり、11月初めに行われた梅檀祭では「山田のじゃんがら念仏踊り」や和太鼓演奏なども披露しました。

**生徒会役員選挙**



立候補者のみなさんはこれから力を入れていきたいことを見事に演説

**ダルマ提灯  
絵付け教室**



ダルマ提灯に「自分の心の中にある双葉町」を表現

**和太鼓練習**



梅檀祭の発表に向けて、**標葉せんたん太鼓保存会のみなさんによる和太鼓指導**

**自然体験学習**



貝の絵ろうそく作り、**カレーライス作り、パークゴルフ、ペタンクなど盛りだくさん**

**生徒会長 澤上美羽さんにお話を伺いました**

私は双葉町立学校が再開した年、平成26年4月から双葉中学校に通っています。「双葉町のことをもっと知りたい、双葉町の人や友達に会いたい」と思い、入学を決めました。双中の良いところは学年関係なく交流でき、ひとつのことを達成するためにみんなが一丸となること。今は生徒も増え、一緒に授業に取り組んだり、休み時間に話をする仲間がいることがとてもうれしいです。

私にとって双葉町は地域の温かさを教えてくれた場所。いつか帰るべき場所だと思っています。学校の授業を通し

て双葉町の方と知り合い、双葉町の思い出を話すことで、地域の「わ」を感じることもできています。

これからは双葉町以外の方や双葉郡内の学校との交流を増やしていきたいと考えています。現在、12月に行われる「ふるさと創造学サミット」に向けて、双葉郡内の中学校と一緒に何かできないか、テレビ会議を使って話し合い、交流をしています。

残り半年の学校生活をみんなとの仲を深めて、悔いのないように過ごしたいです。







学校が再開して3年目。  
校長先生方に今の想いを  
話していただきました。



「町立学校再開当初、どんな学校にな  
ると思っていましたか？」

再開当初は小学校の児童が6年生  
2人、1年生2人の4人。先のことが見  
通せないため、不安がありました。先  
生方は「今、目の前にいる子どもた  
ちに全力を尽くそう」とこれを合言葉  
に、その時にできる最善のことをして  
きました。3年目の今でもその言葉を  
ベースにたくさんの方からアイデアを  
いただきながら試行錯誤しています。

「学校の雰囲気が変わったと感じ  
ることは何ですか？」

今年に入って全学年が揃い、やっと  
学校らしくなってきたなと感じてい  
ます。授業中も休み時間にも、子ども  
たちの声が校舎に響いているという  
状態がうれしいです。

また、児童・生徒は大人と話をした  
り、人前で発表したりということをや  
らざるを得ない環境で生活していま  
す。そのため、この学校に入学してか



双葉中学校  
伏見康弘 校長

双葉北小学校  
渡邊由起子 校長

双葉南小学校  
菊池泰高 校長

ら子どもたちがどんどん元気に、活発  
になってきていると感じます。中学校  
の重点目標は「自信を持って表現する  
ことができる生徒」。授業、学校生活を  
通して、さまざまなことに自信を持っ  
て取り組めるように成長しています。

「町立学校での生活でうれしかった  
こと・印象に残っていることは？」

少人数でも、運動会の楽しさや賑わ  
い子どもたちに味わわせてあげる  
ためにはどうしたらいいかと考えて  
いたとき、大学生にアイデアをもらっ  
たり、町民の方に協力していただいて  
運動会を賑やかに実施できました。ま  
た、いわき市の方から声をかけてい  
ただいたことで、いわき市の陸上大会に  
双葉のユニフォームで参加できたこ  
となど、たくさんあります。多くの人  
のつながりのおかげで子どもたちは  
とても貴重な経験ができています。感  
じます。また、その中で子どもたちの  
成長を感じられることがとてもうれ

しいです。

「双葉町立学校として思うことは？」

双葉町の今後はまだわからないこ  
とも多いですが、双葉町の文化、伝統、  
そういうものを伝え、継承していく、  
記憶として残すという役目を果たす  
としたら、やはり、町立学校である  
と思っています。ふるさと創造学を活用  
して、子どもたちに双葉町のことをた  
くさん伝えていきたいです。

それは、双葉町の学校でしかできな  
いことです。双葉町に帰りたいとい  
う子どもたちもいますし、そういう気持  
ちは大切にしなければならぬと感  
じています。

学校で町のことを学習して、そこか  
らだんだんと視野を広げていってく  
ればよい。将来、復興の担い手とし  
て活躍してほしいという想いはあり  
ますが、さまざまな経験、人との関わ  
りの中で、自分のできることはどうい  
うことなのかを考え、それを実現させ  
てほしいと感じています。

児童・生徒のみなさんへ

「明るく楽しいのが一番。みなさんで明  
るく楽しい学校にしていきたいです。」  
「自分に自信が持てる人に成長してほ  
しいというのが私たちの願いです。」  
「限られた環境ですが、みなさんは無限  
の可能性を持っています。精一杯、さまざま  
なことに頑張ってください。」

子どもたちの様子や学校の取り組みをブログでお届けしています。

双葉中学校ブログ ▶▶▶▶ <http://futabajh.blog.fc2.com/>

双葉南・北小学校ブログ ▶ <http://futabanankokusyo2014.blog.fc2.com/>



双葉中学校



双葉南・  
北小学校

町立学校に関するお問い合わせは  
双葉町教育委員会  
(☎0246-84-5210)まで  
ご連絡ください。







# 交流の輪を広げよう!

## 双葉町民交流施設紹介

各地の町民交流施設では、日頃から町民のみならず、さまざまな活動が行われています。時には笑顔があふれる癒しの場、時には地域のひととの交流の場...その用途によって多様な空間を作り出す町民交流施設で、楽しい時間を過ごしませんか。ぜひ一度お立ち寄りください。

### ふたばーく(いわき市)

〒974-8232 福島県いわき市錦町作鞍80番5(東邦銀行植田支店錦出張所内) ☎0246(84)9560

#### 主なサークルイベント紹介

- 養生太極拳...ゆったりした動作で健康な体づくりを目指す
- 将棋クラブ...将棋を通じて楽しく交流  
繰り広げられる白熱した男の戦い
- 3B体操...老若男女問わず、誰でも気軽にできる健康体操
- なかよし会手芸教室...色とりどりのきめこみパッチワークを制作
- クラフト教室...パワフルな先生のもと、ペーパークラフトでバッグ、カゴなどを制作

地域の人もお話ししながら、和気あいあいとした雰囲気です！完成した作品をいろんな人に褒められるのがうれしいです。(クラフト教室参加者)



### せんだん広場(郡山市)

〒963-0209 福島県郡山市御前南2丁目73 ☎024(952)5625

#### 主なサークルイベント紹介

- 民謡教室...大きな声を出して、みんなで元気よく練習  
自治会定例会や施設慰問などで発表
- クラフト教室...地域の人と一緒に、楽しくおしゃべりしながらやっています
- 編み物教室...3年半続く教室で、たくさんの作品を作りました
- 手芸教室...今年から始めました。参加者募集中!
- 習字サークル...先生の指導のもと、習字の上達を目指し活動

上手、下手関係なく、みんなで大きな声を出してストレスの解消をしています。興味のある方はお気軽に参加してください。(民謡教室参加者)



### ふたば交流広場(加須市)

〒347-0114 埼玉県加須市中種足16番地2 ☎0480(53)5882

#### 主なサークルイベント紹介

- 男の料理教室...男性だけで料理。試食会で女性陣をおもてなし
- ママサロン...ママたちのおしゃべり・情報交換の場  
健康・お肌マッサージ講話なども開催
- 日本舞踊の練習...音楽に合わせて表現される美しい舞
- 子ども勉強会...双葉町、加須市の子どもたちが一緒に勉強
- ふれあい工作...水鉄砲、竹鉄砲、凧などを大人と子どもが一緒になって制作

家にいると食事を気にしないのですが、料理教室だと栄養のバランスを学び、みんなと話しながらご飯を食べることができて楽しいです。(男の料理教室参加者)



施設のご利用には申請書提出が必要です。詳しくは右記連絡先までお問い合わせください。

**ふたばーく**  
双葉町役場いわき事務所  
☎0246(84)5200

**せんだん広場**  
双葉町役場郡山支所  
☎024(973)8090

**ふたば交流広場**  
双葉町役場埼玉支所  
☎0480(53)7780



# ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



9月30日  
県南双樹会  
料理教室  
(白河市)



9月30日  
千葉ひまわり会  
お茶会(船橋市)



10月2日  
ふたばワールド2016  
in かつらお(葛尾村)



10月6日  
避難地域住民交流会  
[日本赤十字社福島支部](福島市)



10月8日  
マコモタケ試食会  
(いわき市)



## ふくしま駅伝2016間もなく開催!

沿道で選手に声援を送りましょう!

タブレットコミュニティ広場で、駅伝の様子を生中継しましょう!



平成28年**11月20日(日)** 7時40分スタート予定

**コース** しらかわカタールスポーツパーク陸上競技場～福島県庁前



# 町からのお知らせ

## 相談・講座

参加無料  
要申込み

### うつを学ぶ家族の相談会を開催します

うつ病と診断され治療中の方のご家族を対象に相談会を開催します。「心を軽くする運動」や「うつ病を抱える方との関わり方」などを一緒に学んでみませんか。また、思うようにならないつらさ、あせり等、ひとりで悩まずに、ご相談ください。

対象	●うつ病を治療中の方のご家族やうつ病について関心のある方 ●保健・医療・福祉関係機関の職員など ※家族交流会は家族のみ参加可能です
場所	福島県南相馬合同庁舎南庁舎4階401会議室（家族交流会は403会議室） 住所：福島県南相馬市原町区錦町1丁目30番地
日程・内容	(1) 平成28年12月19日（月）午後1時半～午後4時 ●公開講座「心を軽くする運動」 講師：南相馬市長寿福祉課 主任作業療法士 伊賀 裕貴子 氏 ●家族交流会 (2) 平成29年1月23日（月）午後1時半～午後4時 ●公開講座①「当事者の体験談」 講師：障がい者相談・地域活動支援センター「ひびき」スタッフ、当事者 ●公開講座②「うつ病を抱える方との関わり方」 講師：南相馬市立総合病院 臨床心理士 熊坂 しのぶ 氏 ●家族交流会
申込方法	電話により、事前に申込みください



【申込み・問い合わせ先】 福島県相双保健福祉事務所 障がい者支援チーム ☎0244-26-1133

※相談会で話された内容についての秘密は厳守されます。

## 情報

### 住宅の二重ローンでお困りの方を応援します

既存の住宅ローンの5年間分の利子相当額、最大140万円を補助します。詳細は、下記にお問い合わせいただくか、福島県のホームページをご覧ください。



福島県二重ローン

問い合わせ先 被災者向け住宅相談窓口専用ダイヤル  
☎024-521-7698  
(平日 午前9時～午後5時)

または 福島県土木部建築指導課  
☎024-521-5764  
☎024-522-6383

## 相談

### 「ハラスメント対応特別相談窓口」を開設します

平成29年1月1日より法律が改正され、いわゆるマタハラなどのハラスメント防止措置が事業主に義務付けられます。また、育児休業や介護休業などが利用しやすくなります。

それに伴い、「ハラスメント対応特別相談窓口」を開設し、平成28年12月28日までの期間、相談を集中的に受け付けます。

問い合わせ先 厚生労働省福島労働局雇用環境・均等室  
☎0800-8004611（フリーダイヤル）

事業主、労務担当者等向けの詳細内容については、下記にお問い合わせいただくか、厚生労働省福島労働局ホームページをご覧ください。

福島労働局

問い合わせ先 厚生労働省福島労働局雇用環境・均等室  
☎024-536-4609



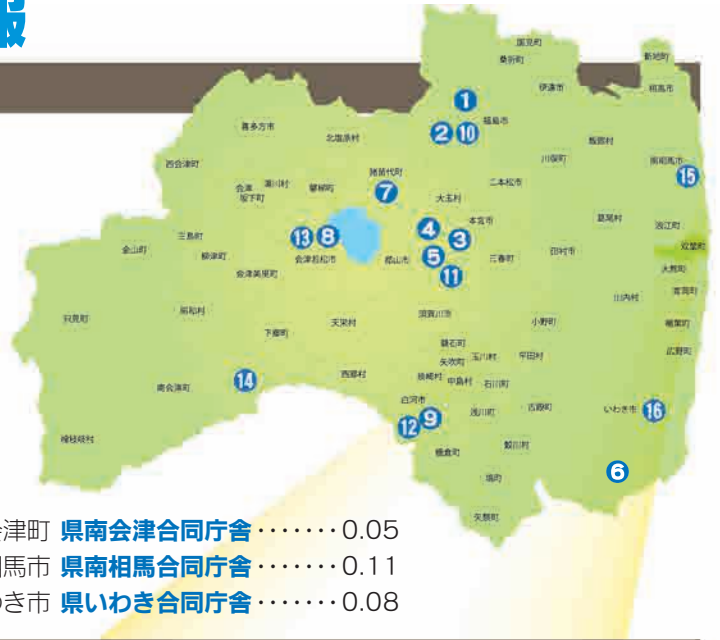
# 放射線モニタリング情報

## 福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

平成28年10月28日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅 ……0.14~0.20
- ②福島市 さくら応急仮設住宅 ……0.06~0.08
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅 ……0.12~0.23
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅 ……0.10~0.12
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅 ……0.14~0.23
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅 ……0.05~0.08
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅 ……0.07~0.09
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅 ……0.07~0.18
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅 ……0.11~0.17
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所 ……0.19
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎 ……0.13
- ⑫白河市 県白河合同庁舎 ……0.10
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎 ……0.07

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎 ……0.05
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎 ……0.11
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎 ……0.08



## 双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

地区	地点	平成24年 4月1日	平成28年 10月28日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.70
新山	新山公民館	—	0.47
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.42
新山	双葉南小学校	—	0.49
新山	双葉中学校	—	0.23
新山	県立双葉高等学校	—	0.30
新山	中央公園	—	0.60
下条	双葉総合公園	2.60	0.97
下条	双葉町役場	—	0.31
郡山	郡山公民館	1.48	0.54
細谷	細谷公民館	2.31	0.72
三字	三字公民館	2.53	0.99
山田	山田農村広場	24.47	7.03
石熊	石熊公民館	12.10	2.91
長塚	双葉町体育館	6.25	2.02
長塚	長塚二公民館	3.26	0.88

地区	地点	平成24年 4月1日	平成28年 10月28日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.23
長塚	町西住宅	—	0.48
長塚	JAふたば北部営農センター	—	6.93
長塚	双葉北小学校	—	1.95
長塚	ふたば幼稚園	—	1.68
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.46
長塚	双葉町児童館	—	0.39
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.74
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.61
寺松	寺松公民館	3.46	1.31
渋川	渋川公民館	1.48	0.55
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	1.63
中田	中田公民館	0.77	0.30
両竹	両竹公民館	0.54	0.10
浜野	浜野公民館	0.34	0.08

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

### 編集後記

先日初めて町立学校を訪問しました。久しぶりに学校に行き、遠い昔を思い出しました。私が子どもの頃は1クラス約40人で、どの小・中学校も児童・生徒数が1,000人ほどいました。そのため、現在全体で32人の町立学校は、静かな雰囲気だろうと思っていました。

しかし、実際はどうでしょう。どの子どもからも元気に挨拶され、昼休みには小学生全員でドッジボールをし、子どもたちの声が校内に響き渡っていました。校長先生は少人数であることで、一人ひとりの児童・生徒をきめ細かにフォローできることがこの学校の強みであると話していました。

今後、子どもたちが町立学校を巣立った後、先生方がいつも温かく見守ってくださったことを思い出すことでしょう。 (ふたさぼ 小幡)

### 後世に残したい双葉町

双葉町にいたときは、鴻草に住んでおり、学校用務員として働いていました。そのため、鴻草の磨崖仏、清戸迫横穴の壁画、源弱山の火明しなど、双葉町の歴史財産に触れる機会が多かったように感じます。

一番の思い出は、南小学校の敷地内で化石を発見したことです。地層から何か飛び出していると思い、掘り出してみると、その後の調査で約350~400万年前のホオジロザメの歯の化石ということがわかりました。現在、その化石は福島県立博物館に保管されています。

町から離れて暮らしている今、町の伝統や文化を身近に感じることができたのは、とても幸せなことだったと思います。これからも次世代に残していってほしいです。

